

1992 年

1. 学術論文

- ・ 宗像恒次:日本人の AIDS 意識と行動に関するマスメディアの影響力評価.日本保健医療行動科学会年報 7:59-77.1992.
- ・ 宗像恒次:HIV/AIDS の感染リスク行動と予防行動に関する研究.日本保健医療行動科学会年報 7:189-211.1992.
- ・ 宗像恒次:セルフケア.日本臨床(1992.年増刊号)50:995-999.1992.
- ・ 椎谷淳二,栗田 広,宗像恒次:精神薄弱関係施設職員の精神健康とその社会的背景—神経症・抑うつ症状を生み出す背景.精神保健研究 4(37):151-159.1992.
- ・ 宗像恒次:人間関係論からみた人間.メディカル・ヒューマニティ 6(2):43-49.1992.
- ・ 宗像恒次:心の生態学からみた健康都市づくり.都市問題研究 70-85.1992.
- ・ 宗像恒次:感染爆発のシナリオと予防策.世界 573:80-86.1992.
- ・ 宗像恒次:これからの健康教育を育てる行動科学的アプローチセルフケア・カウンセリングの体験学習法.保健の科学 34(1):10-16.1992.
- ・ 宗像恒次:エイズ時代の政策課題.公明 365:78-88.1992.

2. その他の論文

- ・ 宗像恒次:AIDS WAR と人類衰亡危機.月刊 ASAHI 4 (1):162 - 165.1992.
- ・ 宗像恒次:普段着のストレス解消術—生き生きライフのポイント.心の健康 40(429):4-12.1992.
- ・ 宗像恒次:老人のヘルスプロモーション.心身症診療 Q&A 8:782-785.1992.
- ・ 宗像恒次:ノーマライゼーションと自殺の予防.日本医事新報 3562.1992.
- ・ 宗像恒次:藤澤和美.エイズの日本・海外での感染状況と予防対策.健康な子ども 237:22-25.1992.
- ・ 宗像恒次:保健行動学.新しい学校健康教育.体育科教育 40(12):128.1992.
- ・ 宗像恒次:自己決定医療—21 世紀の医療を模索する.ヒューマンサイエンス 3(5):18-22.1992.
- ・ 宗像恒次:老人ホームの食生活を充実するために—ヘルスカウンセリングの勤め・栄養士のための行動科学.老人福祉 97:64-67.1992.
- ・ 宗像恒次:ヘルスカウンセリングの理論と実際.よぼういがく 22(12):3-30.1992.
- ・ 宗像恒次:感染爆発.今瀬戸際に立つ私達.大阪保険医雑誌 20(13):4-7.1992.
- ・ 宗像恒次,村田務,田島和雄:セックスパートナーリレーションをめぐる行動疫学的研究.厚生科学 HIV 疫学研究班報告書.1992.
- ・ 村田務,宗像恒次,田島和雄:AIDS の予防教育における行動科学的アプローチの効果.厚生科学 HIV 疫学研究班報告書.1992.

3. 著書

- ・ 宗像恒次,石川敏男:「医師自身のソーシャルサポート」(編)心身医療研究会「医師・治療者自身のストレス管理」,医薬ジャーナル,東京,pp.130-139.1992.
- ・ 宗像恒次:「自己決定」医療—21 世紀の医療文化」(編)園田恭一「社会学と医療」,弘文堂,東京,pp.229-258.1992.
- ・ 宗像恒次:「世界流行病としてのエイズの日本人の感染リスク行為—国際比較」(編)宗像恒次「エイズ・サバイバル—日本人の意識と行動調査レポート」,日本評論社,東京,pp.35-53.1992.
- ・ 宗像恒次:「エイズに対する偏見と差別がもたらす者—感染者の恐怖と潜在化」(編)宗像恒次「エイズ・サバイバル—日本人の意識と行動調査レポート」,日本評論社,東京,pp.119-143.1992.
- ・ 宗像恒次:「日本は感染爆発を避けられるか」(編)NHK 取材班「エイズ危機」,NHK 出版,東京,pp.94-104.1992.
- ・ 宗像恒次:「精神障害者に対する医療と福祉の場合」(編)社会保障研究所「リーディングス日本の社会保障“医療”」,有斐閣,東京,pp.310-329.1992.

- Munakata T: Health Care Systems for Self-Initiated Health—A Future System Plan.(Ed.)M.K.Chrtil,G.Duru,W.van Eimeren,CH.D.Flage. (In)Health System—the Challenge of Change. Omnipress Publisher Prague,Czechoslovakia,pp.652—655.1992,
- MunakataT: Effective Health Policy for AIDS Prevention in Japan.(Ed.) Suggestions from and International KABP Comparison, Shunichi Araki. (In) Behavioral Medicine, Elsevier Science Publishers B.V., Amsterdam, pp.223—228.1992.
- 宗像恒次:「エイズ感染爆発のシナリオと急がれる予防策」(編)宗像恒次,田島和雄「エイズとセックスレポート/JAPAN」,日本評論社,東京,pp.5—20.1992.
- 宗像恒次:「日本人のセックスと HIV リスク」(編)宗像恒次,田島和雄「エイズとセックスレポート/JAPAN」,日本評論社,東京,pp.21—51,1992.
- 宗像恒次:「エイズがわかる本」.法研,東京,pp.203.1992.
- 宗像恒次,大矢幸弘,他:「現代のエスプリ」ヘルスカウンセリング.至文堂,5—39,1992.
- 宗像恒次,山崎久美子,諏訪茂樹,中川薫,杉田聡,黒田浩一郎:「医療倫理学—医師の倫理的責任—」.医歯薬出版,1—222,1992.

4.口頭発表

- Munakata T: The Japanese Risky Sex Behavior on HIV Infection— A Sex Partner Relation Survey. InternationalConference on AIDS/STD World Congress, Amsterdam, The Netherlands.1992. 7.
- Munakata T: Health Care Systems for Self-Initiated Health—A Future System Plan,5th Int. Conf.on System Science Health Care,Czechoslovakia,1992. 8.
- 宗像恒次:ホスピス患者をめぐっての意識調査,第 16 回死の臨床研究会大会,福岡,1992.10.
- 宗像恒次:エイズ—感染をとりまく社会的状況.第 89 回東京都衛生局学会,東京,1992.11.
- 宗像恒次:ストレス研究の方法論—社会心理的ストレスの測定について.第 8 回日本ストレス学会学術集会,東京,1992.12.

5.その他

- 宗像恒次,山崎久美子(監訳):医療倫理学—医師の倫理的責任—トム L. ビューチャンプ,ローレンス B.マックロウ,医歯薬出版株式会社,東京,pp.1—222.1992.
- 宗像恒次:つくられるイコ人間.社会保険 43(1):17.1992.
- 宗像恒次:開き直るイコ人間の健康回復.社会保険 43(2):17.1992
- 宗像恒次:Healthy Company づくり.社会保険 43(3):17.1992.
- 宗像恒次:ストレス,しっかりわかればコワくない.MIND TODAY4:58—61.1992.
- 宗像恒次:エイズ.世界 576:28—29.1992.